

# 西都原考古博物館少年団

宮崎県立西都原考古博物館少年団は、体験活動を通して古代の人々の生活や知恵を学び、考古学に関する興味・関心、文化財の保存と活用についての意識を高めることを主な目的に、年間を通して活動します。

活動内容は、古代生活体験館でのものづくりや体験が主となります。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数や活動の制限、場所や内容の変更などを行いながら実施することになりますが、子どもたちの学びを止めることなく、新しい生活様式に沿った新しい少年団活動を行っていききたいと思います。

活動テーマは、「古代のくらしを楽しく学ぼう」です。県内の小・中学生が団員として7月から毎月1回、計9回の活動をします。以下、活動の様子を新しい順に紹介します。

## 第1回「博物館を探検しよう！・まが玉をつくろう！」 令和3年7月4日(日)

博物館1階の多目的ホールで「結団式」を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催いたしました。本年度は31名(結団式の出席者は28名)で活動していきます！

式の後には、展示室を見学し、最後に古代生活体験館でまが玉づくりを体験しました。

制限の多い中でのスタートでしたが、終始、みんないい表情を浮かべ、博物館を楽しんでいる様子でした。これから1年間、新型コロナ対策を万全に行いながら、楽しく頑張っていきましょう。



結団式1



結団式2



館内見学（1階エントランス・書）  
（全員マスク着用の上、エアコン・換気扇の稼働、窓などの開放、短時間での活動）



まが玉づくり（古代生活体験館）

## 第2回「考古学って楽しい！ 竪穴住居について調べよう」 令和3年7月31日(土)

小・中学生の体験講座と同時開催で、竪穴住居の学習・模型制作を行いました。

竪穴住居の学習では、竪穴住居の復原写真やイメージ図、発掘された住居跡の写真を見ながら、現代の家屋との相違点を発表しました。自分の生活と比較すると違いがよく分かりますね。

模型制作では、発泡スチロール3段重ねで間仕切りのある竪穴住居の床と壁、覆い部分はペーパークラフトで仕上げました。みんな、頑張っておっていました。夏休みの工作体験にぴったりでした。



## 第3回「古代衣装をつくろう！」 令和3年8月14日(土)

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止いたしました。